

平成30年度 認定こども園 鈴ノ宮保育園 自己評価

はじめに

今年度は、新採用の職員が多く一年がスタートしました。4月より細かな話し合いが必要だったり、全職員の周知・理解など難しい面もありました。そのために、行事の進行が順調に進まず戸惑った場面も見られましたが、全職員の協力のもとで変わりなく教育・保育を進めていくことができました。

・教育・保育について

「たくましく生きる力を育む」の園目標をもとに、年齢に応じた食育の取り組みや色々な教室など子ども達に興味・関心を持てる幅広い教育活動を行うことができました。また、今までにあまり取り組むことが出来なかったコーナー遊びを取りいれたり新しい環境面も工夫しましたが、まだまだ検討の段階で立ち止まった状態になっています。新しい事に取り掛かる難しさや教育・保育の質の向上のためには、職員の協力のもとに実現していくことの大切さが実感できました。

・小学校との連携について

学校行事に園児を毎年招待して頂いています。また、こちらからも訪問する機会もあり交流を深めることができ、子どもたちも小学校に対して不安を持つことなくスタートができたのではと思います。

子どもたちが、よりよくスタートできることや新要領の幼児期の終わりまでに育てて欲しい姿が重要になり、もっと小学校とのかかわりを積極的に行って行くことが大切になってきています。

区の園長会を通じての小学校との意見交換会など、まだ順調に進んでいませんが次年度も取り組んでいく課題となっています。

・説明責任

近隣の方々には、年2回お便りを配布しています。子ども達の近況や成長の様子など、また運動会の練習などでご迷惑をお掛けしていることのお詫びなど知らせています。

今年度は残念ながら園庭の騒音について苦情があり夕方の園庭遊びを考え直したり、遊び方や時間の工夫をして対応していきました。地域との関わり方の難しさを感じていますが、よりよい関係になれるように努めていきたいと思っています。

一方では、地域の方々に楽しみにして頂いている行事の関わりも定着してきて、グループホームの運動会のご招待やハロウィンでのパレードでは地域の方々と行事として楽しめる関係になってきているのではと思っています。

・プライバシー保護

職員は当然退職する職員、実習生にもプライバシー保護の大切さを説明しています。ホームページに掲載するときも、顔を判別できないようにしたり行事での投稿（ツイッター・SNS）の禁止を保護者の方にもお願いして努めています。

・外国人の保護者の対応

外国人の保護者が増えているため意思の疎通がスムーズに行かない場合もあります。何年も通園されていても伝わらない難しい面もありました。もう少し、個別の丁寧な関わりかたを職員全体が配慮できるように心がけていきたいです。

・見守り家庭について

年々多くなっていく見守りで情報を丁寧にすることがますます大切になってきました。その都度全職員が共通の理解や協力しながら関わることの大切さを今年度はとくに感じました。相談にのる時などはクラスの職員だけでなく全クラスの職員で対応することができました。また各区役所の担当者の方々に相談させていただき協力して対応していくことができたのですが、より密に関わっていきたいと思います。

・在宅の子ども達への支援

園庭開放を開催しており、今年度も多くの方々に来ていただきました。季節に応じて内容を心がけたり、気軽にきて頂ける様な工夫もしました。とくに、園ならではの行事 七夕・ハロウィン・クリスマス・豆まき会・ひなまつり会は好評で楽しんでいただけたようです。小学校の方にも月一度、地域における子育て支援サークルのお手伝いをさせて頂いています。地域の方々の子育ての相談にも気軽にさせていただけるような支援の工夫も考えていきたいと思います。

・防災について

今年度は台風・大雨・地震などの今までにない大きな災害が続きました。台風は職員の被害もあり園を開けることが難しい面もありましたが職員や保護者の協力のもとで無事に開けることができました。防災の研修に参加をし、マニュアルについては引き続き検討し再整備して安全対策の強化など更なる充実に努めるように努めます。

今後は、職員体制も代わり細かな情報の交換や園内の研修などを繰り返し確認しながら、誰もが自分の意見を発言できるような環境作りに取り組んでいかななくてはと思います。

また、現在取り組んでいる園の様子を可視化することで保護者の皆様に子どもの成長をより理解していただき、子ども・保護者・職員・地域の皆様と一緒に育っていける園を目指すことを考えていきたいです。

安全対策の取り組みも防災や事故・見守りなど検討し、より安全な園を目指していきたいと思います。